

# 2010年（平成22年）度第2回常務理事会記録

日時 2010年（平成22年）2月20日（土） 15:00～18:40

場所 東京大学大学院医学系研究科 教育研究棟4階N401

出席者：内山安男（理事長）、牛木辰男、岡部繁男、河田光博、藤本豊士（以上常務理事）、竹田 扇（常任幹事）、天野恵子、中村 聡（以上、口腔保健協会）

## < 理事長挨拶 >

「基礎医学教育・研究の活性化に対する要望書」を4学会の会長、理事長が集まって民主党副幹事長及び文部科学大臣、副大臣、政務官、内閣府副大臣、政務官に提出した件に関して、配布資料をもとに説明があった。これに関して理事の間で意見交換が行なわれた。

## I. 会議記録の確認

2009年（平成21年）度第6回常務理事会（平成21年12月12日開催）記録、同摘録（案）

2010年（平成22年）度第1回常務理事会（平成22年1月22日開催）記録、（案）

2009年（平成21年）度第5回理事会（平成21年12月12日開催）記録、同摘録、同議事（案）

2010年（平成22年）度第1回理事会（平成22年1月28日開催）記録、同議事録（案）

## II. 報告事項

### 1. 庶務報告（岡部庶務担当理事）

#### (1) 会員異動報告

平成21年12月分（入会者 正会員 1名、学生4名、退会者 正会員 12名、学生 4名、学術評議員 1名）

平成22年1月分（入会者 正会員 36名、学生48名、退会者 正会員 4名、名誉会員 1名、学術評議員 2名）

逝去会員：

醍醐 正之氏（日本獣医生命科学大学/正会員） 平成21年12月13日逝去（享年81歳）

山形 健三氏（大阪市立大学/名誉会員） 平成22年1月7日（享年87歳）

幡井 勉氏（東邦大学/名誉会員） 平成22年2月10日（享年91歳）

逝去会員追悼記事の執筆を故人と関係のある会員に依頼する事になった。

#### (2) 会費納入状況（長期未納者の除名について）

会費未納者に関する説明が行なわれ、その氏名を次回の総会時に会場で掲示する事が確認

された。また、賛助会員、個人会員に関しては可能な限り事前に理事長、理事で分担して督促を行なう事にした。

#### (3) 学会宛文書類について

通知・依頼：大矢商会より「平成22年1-6月の各学会・研究会・集会一覧表」他40件の通知・依頼あり。

書籍・定期通信等：日本学術会議より「学術の動向 2009.12」他8件あり。

#### (4) 次期日本医学会会長・副会長・幹事の推薦について

配布資料に基づいて河田企画・渉外担当理事より説明があった。

#### (5) 各種委員会報告について

情報技術委員会（辰巳委員長）以外からは提出済で、情報技術委員会からも来週中には提出される旨が報告された。

#### (6) 評議員会・総会の案内と書面表決状について

配布資料10に基づいて説明があり、総会日時の曜日表記の訂正が指摘された（29日は日曜日ではなく月曜日である）。

#### (7) 評議員会・総会資料作成について

資料に基づいて説明がなされ、Fawcett氏の肩書きをハーヴァード大学名誉教授とする事を決定した。

今回報告の物故、学術評議員は共に第114回の総会後に報告があったものである事が確認された。

規約改定に関して、口腔保健協会中村氏より説明があり、本件が文部科学省から承認された旨が報告された。また配布資料11の一部は後日改訂する事が報告された。

国際形態科学シンポジウムへの協力を事業計画案に含める事、APICA開催時期が2011年7月である事が報告された。

(8) 人体の不思議展について

理事長宛に送付された富永智津子氏からの要望書(資料12)に関して、意見交換が行なわれた。まずは倫理委員会委員長に経緯を報告し、次回総会時に併催される倫理委員会で富永氏からの意見聴取の実施を要請する事にした。

(9) その他

2. 編集報告(藤本編集担当理事)

(1) ASIについて

昨年度の発刊状況に関して配布に基づいて報告があった。

(2) その他

解剖学雑誌のページ数削減に向けて採られた方策に関する説明があった。

3. 企画・渉外報告(河田企画・渉外担当理事)

(1) 平成21年度日本解剖学会奨励賞について

2009年12月23日に篠田委員長のもとで選考が行なわれ、申請者6名中4名が選考された旨が報告された。

(2) 平成21年度日本解剖学会解剖組織技術士功労賞について

資料に基づいて説明が行なわれた。今年度は応募が0件であったこと、過去にも同様の事例が

あったことが報告された。

(3) 第115回日本解剖学会全国学術集会(含、肉眼解剖学トラベルアワード(献体学術賞))について

篤志会から8名に対してトラベルアワードが支給される事が報告された。選考過程に関して口腔保健協会の中村氏より説明があった。また理事長より、「当該学術賞が従前は発生学に関する研究者にも支給されていた筈なので、来年度からこれを考慮した選考が望まれる」旨の発言があった。

本年度の総会予稿集の状況に関して牛木理事より説明あり、3月上旬には配布可能で、120万円程度の支出になる事が報告された。

(4) 2010(平成22)年度総会・全国学術集会準備状況について

資料に基づいて説明が行なわれた。

(5) 生科連 第24回連絡会議について

生科連のワーキンググループが発足し、地学分野の学会連合を参考にして今後の活動を行っていく方針が浅島誠氏より提案された事が報告された。また高校の生物教育カリキュラム改訂に関して生科連として統一見解を発していく必要がある旨を理事長が発議した。

4. 会計報告(牛木会計担当理事)

(1) 支部学術集会収支報告について

各支部からの報告書に関して説明があった。

(2) 2009(平成21年度)全国学術集会収支決算報告について

第114回総会の決算は268,141円の黒字になったことが判明した。この分は2009年度の未収金として処理し、今年度岡山大学から返納してもらうことにした。

(3) 平成21年度決算書(案)について

資料20に基づいて平成21年度補正予算、未収金に関する報告がなされた。前者に関しては資料20の「平成21年度予算」に最終的に決定した補正予算額を反映させる事、後者に関しては督促を行う事がそれぞれ決定された。平成21年度の予算について3月16日に監事の相磯、渡邊両氏による会計監査が行われる旨報告があった。

(4) 平成22年度予算(案)について

会費収入は徴収率90%で、科研費は申請額で計上した。名簿頒布収入に関しては、平成21年度分は平成21年度の未収金として処理したため、予算書に項目だけ残しておき、未収が

続く様ならあとで雑費として処理するという事でよいとの指摘が税理士からあった旨報告された。委員会運営費に関する内訳、振興基金会計に関する取扱が説明された。一般社団に移行する場合にこの基金をどの様に扱うか検討しておく必要がある事が口腔保健協会天野氏から指摘された。

- (5) 平成22年度決算中間報告について  
本年度1月からの執行状況に関して説明があった。
- (6) その他

#### ・審議事項

1. 新入会員の承認について  
新規入会者のリストが提示され、全件承認された。
2. 申請による学術評議員審査結果について  
8件の申請があり、全件承認された。
3. 教授就任による申請学術評議員について  
3件の申請があり、全件承認された。
4. 永年会員の推薦について  
被推薦人名簿に関して説明があり、希望者に関しては承認する事にした。
5. 奨励賞規約について  
年齢制限に関しては文科省の科研費の実態に合わせ上限を39歳以下に変更した。規約の2にある[Acta Anatomica Nipponica 「会報欄」]から「会報欄」を削除することが提案され承認された。選考委員の氏名公表に関して様々な意見交換が行なわれた結果、今回は規約の改正は行なわない事に決定し、今後の検討課題とした。
6. 一般社団法人への移行について  
事務局天野氏から説明があり、本日の常務理事会で骨子を決めて欲しい旨の提案がなされた。従前の定款を可能な限り生かした様式で作成された改定案が提示され、これに基づいて議論がなされた。大きく替わった点と審議の対象になった点は以下の通り。
  - (1) 代議員制を敷くこととなった。
  - (2) 特定の事務所を置く必要がないので現在本郷弥生町にある事務所ではなく、口腔保健協会の住所で対応可能となった。
  - (3) 入会の規約は常務理事会承認のままとし、第21条第1項の文言改訂、22条第4項の職務を追加した。
  - (4) 理事長、理事、幹事の任期について、一般社団法人としての制限が存在するのか、事務局に引き続き調査を依頼した。
  - (5) 任期に関して「通算」の定義を明確にしておく旨が確認された。
  - (6) 用語の問題に関して「会員総会」は現在の「総会」に、「評議員会」は「社員総会」に読み替えることを確認した。
  - (7) 移行スケジュールに関して事務局から提示された案について検討した。会計年度を2月1日から1月31日として、移行年度のみは13ヶ月分という事で施行することに合意した。移行時期に関しては、定款変更のスケジュールを考えると今年度の移行は難しい旨が天野氏より説明された。
  - (8) 18条に関して除名に関する文書の記述が不明瞭で判り難いとの追加意見が出され、その改訂を行う事にした。
  - (9) 26条の代議員に関しては、定員をどのように定めるか現状での学術評議員数を元に引き続き検討することとした。また、本件を含む総会議案に関して2月26日付で会員宛に事前評決の葉書を送付する旨が事務局から通知された。
  - (10) 33条に関しては従前通り「出席会員の互選」でよいことを確認した。
  - (11) 37条に関しては2/3という現行制度を引き続き適用することとした。
  - (12) 43条は改訂、44条は削除という事で合意した。
  - (13) 次回の総会に向けて司法書士に相談した上で原案を作成することが確認された。また、「一般社団法人への移行」に関しては随時意見を寄せて欲しい旨が内山理事長から要請された。

7. 次回理事会・常務理事会・支部長会・各種委員会の日程・議事について

平成22年度第3回常務理事会 2010年3月27日（土）12:00～14:30

平成22年度第1回支部長会 2010年3月27日（土）14:30～15:30

平成22年度第2回理事会 2010年3月27日（土）15:30～18:30

何れも岩手医科大学循環器センター10階 同窓会室で開催。

以上の日程が承認された。

各種委員会・WGへのオブザーバーとして公益法人は岡部理事、解剖組織は牛木理事、解剖体は牛木理事、将来改革は岡部理事、コメディカルは河田理事、情報技術は牛木理事がそれぞれ陪席する事が確認された

8. その他

奨励賞選考委員長候補者として木山博資氏を推薦する事で決定した。